大宰府展示館―古代太宰府の証と現在も続く発見

大宰府展示館は、7世紀から現在の発掘の試みまで太宰府の歴史をたどることができます。太宰府が日本の歴史、文化、教育、宗教に深く関わっていることを知るために、この博物館を訪れてください。

大宰府がどのようにして詳細な立体模型を通して見えるのかを学び、何十年にもわたる発掘を展示する映像を見たり、建物の屋根を飾る西洋のガーゴイル（怪物像）のような悪魔が彫刻された瓦である、恐ろしい鬼瓦と向き合ってみてください。

2019年5月の徳仁天皇の菊の紋の皇位への即位は、日本の新時代、令和の始まりを告げました。「令和」という名の由来が、730年に大宰府で行われた梅の木の下で行われた宴に求めることができる理由を発見するために展示館を訪問してください。

展示品の説明は英語で行われ、大宰府の豊かな歴史や文化をより深く理解することができます。展示館は太宰府の行政機関の遺跡の入口近くに建っています。古代太宰府のスケールを把握するために広大な敷地へと出かける前に、大宰府の歴史や7世紀の当時の様子を知るために、まずこの博物館を訪れてください。